

Femme Khmer au marché



Peuple Miao - Chine, province du Guizhou



J A P A N

PLANET FINANCE

www.planetfinance.org

The Microfinance Platform

Pushkar, Inde



Présence à l'échelle internationale



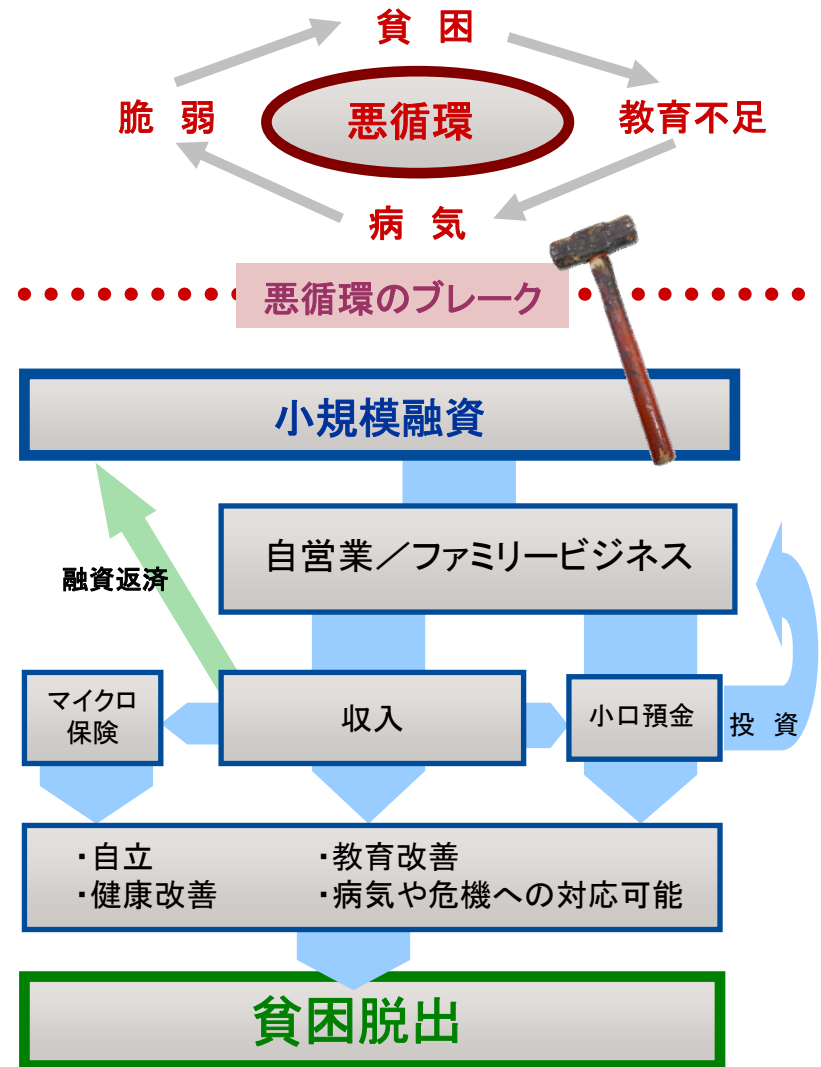
特定非営利活動法人
プラネットファイナンスジャパン

マイクロファイナンスとは：貧困脱出を自助努力で達成

マイクロファイナンス(小規模金融)とは:

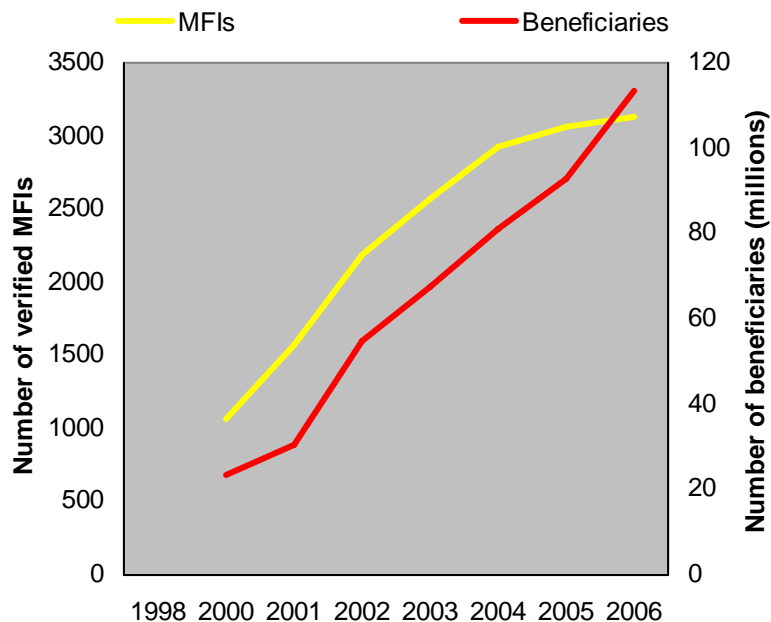
- 融資 (loans)
- 預貯金口座
- 保険

一般の銀行が提供している商品、サービスと同じだが、顧客が貧しい人びとを対象とするため提供方法のアプローチが異なる。



マイクロファイナンス分野の急成長

MFIの数及び貧困層への金融サービス提供は増加しています。



Source: Microcredit Summit Campaign

マイクロファイナンス関連の統計

2006年1月時点で、3,133のMFIにより113,261,390人の利用者に金融サービスを提供することができました。その利用者は、初回の融資提供時に、最貧困層と呼ばれる人びとでした。

その利用者のうち、84.2% (68,993,027人)が女性です。

847のMFIは、2005年の事業計画書の中で、82%の利用者が最貧困層を対象とする、としています。

今日の課題（金融システムアプローチ）

マイクロファイナンス分野の持続的な成長への壁



資本不足

- 透明性の欠如
- 独立評価機関の欠如



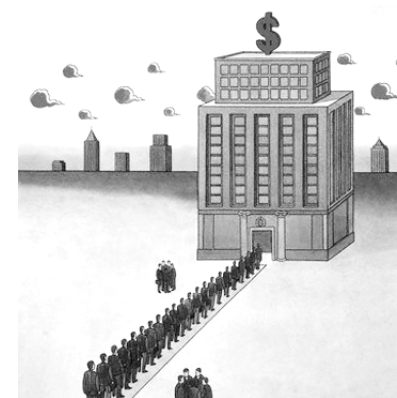
運用コストが高い

- 非効率な運用/
マネジメント力の欠如
- 古いシステムへの依存
- サービスの多様化



政策の欠如

- 法律規制の不備
- 貸付慣行に対する政府の過剰な介入
- 信用調査機関や金融マーケット基盤の欠如
- 効率の悪い情報共有

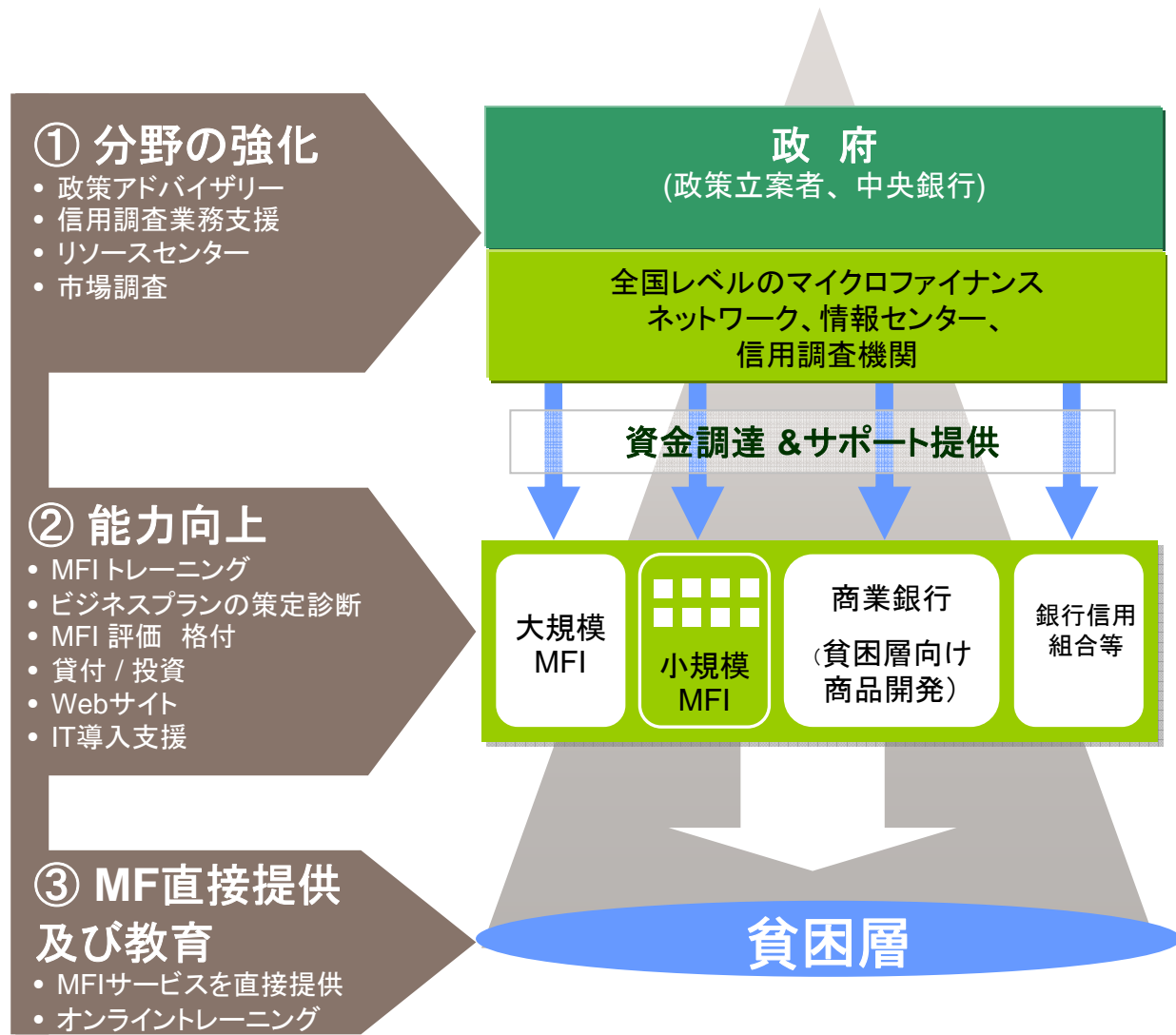


MFI*の不足

- 地方地域におけるMFI不足
- 自然災害による影響

*MFI・・・マイクロファイナンスを提供する機関

プラネットファイナンスの活動内容



今日の課題（統合システムアプローチ）

マイクロファイナンス分野の持続的な成長への支援のニーズ



教育

- 職業トレーニング
- 金融知識
- マネージメントスキル
- コンピュータリテラシー



社会的な壁

- 女性エンパワーメント
- ヘルス(エイズ、マラリア)



ソフトインフラ

- 市場へのインプット
- 商品売り先の市場
- MF分野の統括機関
- MF以外の業界へのリンク
- 法的整備



ハードインフラ

- 通信網の設置
- 交通網
- 電力



教育

マイクロファイナンスと コンピュータ・リテラシー

2004年4月- 2006年3月

後援: Microsoft (2年間にわたり5万ユーロ/年)

中国におけるマイクロファイナンスとコンピュータ・リテラシー (2004年4月 - 2006年3月)

コンピュータ・リテラシーにより、出稼ぎ労働者が市場経済に溶け込むことができるようになります。

5000人以上の出稼ぎ労働者がこのトレーニングを受けました。現在、プログラムは他の3つの地域に拡大しています。

背景

- 農村部から都市部への出稼ぎは、おそらくここ10年間の中国における、主要な人口動向となっています。
- 最大1億5000万人が中国の「浮動人口」になっていると報告されています。
- このような出稼ぎ労働者は中国の都市および中国の社会の片隅に暮らしており、このような人々の寄る辺なさがここ数年間の不穏な状況の原因となっています。

全体的な目的

- 1週間に3日のトレーニング・セッションで、出稼ぎ労働者に基本的なコンピュータ・スキルを身につけさせ、出稼ぎ労働者が市場経済に溶け込めるようにする。
- 授業への出席により、研修生は仲間のネットワークを築けるようになり、孤立し、立場が弱くなるのを防ぐことができる。

手段

- 厦門および雲南省の大都市周辺部の、出稼ぎ労働者が生活しているエリアに、「コミュニティ技術センター」を設立する。
- 力の弱い人々および/または読み書きのできない研修生のための、ITトレーニング・モジュールを開発する。
- 地域のNGOと連携して、他の形態のトレーニングを提供することで、出稼ぎ労働者のコミュニティを支援する。

西アフリカ ベナン



社会的な壁

マイクロファイナンスと保健プログラム

2004年5月- 2007年5月

後援: Sanofi Synthlabo (3年間にわたり20万ユーロ/年)

ベナンにおけるマイクロファイナンスと保健プログラム (2004年5月-2007年5月)

ベナンでは、マラリアが小児の死亡原因のトップになっています。マラリアは成人の就業の妨げやマイクロローン悪用の原因にもなっています。

プログラムの最初の2年間で、821名のマスター・トレーナーが育成され、8万7337人がプログラムに参加しました。

背景

- ベナンでは、世帯支出の25%から40%がマラリアの治療に充てられています。
- それでもなお、マラリアが子供たちの死亡原因のトップになっており、1日平均50人以上の子供たちが死んでいます。
- マラリアは、成人の就業能力にも深刻な影響を及ぼしており、それが低開発の主要な原因となっています。
- マラリアはマイクロファイナンス・セクターにも好ましくない影響を与えています。マイクロクレジット・ローンの悪用の主な理由が、治療費のやりくりだからです。

全体的な目的

- マラリアの感染率を低下させる、効果的な意識改革キャンペーンのためのツールを開発する。
- 3年間で30万人の人々に意識改革キャンペーンを行き渡るようにする。

手段

- 15のMFI/NGOとの強固な連携を通じて、情報ネットワークを構築する。MFI/NGOは農村部に7つ、都市周辺エリアに4つ、都市エリアに4つ存在。
- シンプルだが効果的なコミュニケーション・ツール。
- 「トレーナーをトレーニングする」カリキュラムを通じて、MFI/NGOのメンバーならびに連帯グループのリーダーたちを訓練する。
- プログラムの管理、監督および評価を通じて、効果を見定める。

中国 陝西省と寧夏省



ソフトインフラ

マイクロファイナンスとITC

2006年4月-2008年3月

後援: Qualcomm (CDMA2000携帯電話1000台を寄贈)

中国におけるマイクロファイナンスとITC (2006年4月 - 2008年3月)

中国では情報格差(デジタル・デバイド)が広がっており、農村部の未開発の原因となっています。

SMSメッセージング・サービスを通じて、農村部の農民1000人が市場価格およびマイクロファイナンス・ローンに関する情報を得られるようになります。

背景

- 中国の携帯電話普及率はちょうど30%ですが、農村部では普及が極端に遅れています。
- 市場価格に関する情報が得られないため、地方の農民や職人は、製品を販売する機会を逸したり、市場まで価格を尋ねに行くのに時間を無駄に費やしたりしています。

全体的な目的

- マイクロファイナンス提供機関のクライアントが市場価格の情報を得られるようにし、さらにSMSを通じて携帯電話でローンの最新情報が伝わるようにする。
- 携帯電話を受け取った人が地元の市場にアクセスするのを奨励し、さらにこのような人々がマイクロファイナンス・ローンを簡単に受けられるようにする。

手段

- 中国北西部および南西部の最貧地域に住む、マイクロファイナンスのクライアントに携帯電話を提供し、地元市場のデータにアクセスできるようにする。
- チャイナユニコム(中国聯通)と連携して各ユーザにサービス・バウチャーを毎月提供し、ユーザが携帯電話を2年間無料で使用できるようにする。



ハードインフラ

マイクロファイナンスと 再生可能エネルギー

2007年4月-2009年4月

後援: Areva (3年間にわたり5万ユーロ/年)

中国におけるマイクロファイナンスと再生可能エネルギー（2007年4月-2009年4月）

低コストの再生利用エネルギー源により、起業家の活動を活性化させ、環境悪化を抑制することができます。



背景

- 通渭県の人々は電力をほとんど利用できず、品質の悪い炭や薪に依存して、エネルギー・ニーズを満たしています。
- 電力が行き渡っていないため、収入レベルの向上に繋がる、農産活動の発展が滞っています。
- 環境の悪化が経済だけでなく、そこに住む人々の健康に長期的な影響を及ぼしています。

全体的な目的

- バイオガス・ダイジェスターあるいはソーラーパネルの購入に充てる資金（1世帯当たりおよそ5万円）を提供する、具体的なローン商品の開発。
- 200世帯がローンを利用して、家庭に再生可能エネルギー源を設置する、パイロット・プロジェクトの実施。

手段

- 資本ファンドを設立して、ソーラー・パネルまたはバイオ燃料製造装置の購入を考えている世帯に低金利のローンを提供する。
- 選び抜いたMFIと連携を築き、適切なローン商品の開発と意識改革キャンペーンを実施する。
- 再生可能エネルギー源の購入者に、エネルギーを活用してビジネスを発展させる方法を講習する。
- 砂漠化のおそれがある地域での森林再生プロセスに着手する。



プラネット大学

<http://www.planetfinance.or.jp/planet-university>

J A P A N

PLANET FINANCE

www.planetfinance.org

The Microfinance Platform

特定非営利活動法人 プラネットファイナンスジャパン

ロン・ベバクア
常務理事・事務局長

〒100-0011
東京都千代田区内幸町2-1-8 1022号室

TEL 03-5511-5478
FAX 03-5521-2714
E-mail contact@planetfinance.or.jp

<http://www.planetfinance.or.jp>

Special thanks to:

当資料のデザインに当たっては、新生銀行 Webデザインアプリケーションチームに協力していただきました。感謝申し上げます。